

第31回道路行政マネジメントを实践する栃木県会議

日 時 : 令和8年8月27日(木) 15:00~
場 所 : 栃木県庁 北別館 4階 会議室403

議 事 要 旨

1. 議事

<概要説明>

- 1) 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議の概要 【報告】

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗状況 【報告】
2) 最新データによるモニタリング結果 【審議事項】【報告】
3) 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討 【報告】
4) LRT 関連の事業進捗 【報告】
5) 観光期の交通状況 【情報共有】

<事故対策>

- 1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況 【報告】
2) 事故危険区間等の対策案について 【審議事項】【報告】
3) 重大事故対策について 【審議事項】【報告】
4) 生活道路事故対策の取組について 【報告】
5) その他 【報告】

2. 議事要旨

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗報告 【報告】

- 2) 最新データによるモニタリング結果 【審議事項】【報告】

(審議結果)

■今年度主要渋滞箇所の解除について

- ・「全流入方向」でモニタリング3指標をクリアしている5箇所について、現地踏査を行った結果、2箇所の解除について了承頂いた。
- ・「主道路のみ」モニタリング3指標をクリアしている3箇所について、現地踏査も実施したが捌け残りが発生していることが確認されたことから、今回については解除しないことでも了承頂いた。

■来年度主要渋滞箇所の解除について

- ・「全流入方向」でモニタリング3指標をクリアしている6箇所について、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことで了承頂いた。
- ・「主道路のみ」モニタリング3指標をクリアしている8箇所について、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことで了承頂いた。

(委員意見)

- ・今回解除を見送った「井頭公園入口」「【仮称】今福三丁目バス停西側」「瑞穂野南」については、信号現示の調整や階梯集約による対策の可能性が示されている。信号制御は線または面で行う性質上、特定の渋滞交差点1箇所のみを調整すると、周辺交差点へ交通が集中し、新たな渋滞が発生する懸念がある。現地状況の分析結果から信号の集約が可能と判断された箇所については、信号制御を所管する交通管制センターと詳細なやり取りをさせていただいた後、対応を検討したい。
- ・国道4号BP瑞穂野南交差点は従道路側に若干の捌け残りがあることにより解除見送りとなっているが、常時捌け残りが発生している状況ではない。現地踏査で確認した捌け残りが許容範囲内であるかといった点も踏まえ、関係者間で協議のうえ解除の取り扱いについて検討する必要がある。

(委員長意見)

- ・関係者で協議、調整を行った結果を次回委員会で共有してほしい。

3) 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討【報告】

4) LRT 関連の事業進捗【報告】

5) 観光期の交通状況【情報共有】

(委員意見)

- ・今年のゴールデンウィークは、日光エリアを対象にホームページやSNSでの情報発信、オフピーク観光の奨励、臨時駐車場の開設を実施した。その結果、昨年と比較して最大通過時間が約30分短縮し、渋滞抑制に一定の効果が確認された。今年の秋の行楽シーズンに向けては、これまでの取り組みを継続するとともに、改善の余地がある奥日光エリアを対象に、引き続き対策を講じていく予定である。

<事故対策>

1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況【報告】

2) 事故危険区間等の対策案について【審議事項】【報告】

(審議結果)

■国道50号佐野新都市交差点について

- ・関係者間で調整のうえ、対策メニューとして、右折指導線、ゼブラによる交差点のコンパクト化、注意喚起看板、カラー舗装等の設置を検討することで合意を得た。

(委員長意見)

- ・ 事故の発生が多い交差点である。交通安全対策を速やかに進めるべき。

3) 重大事故対策について【審議事項】【報告】

(審議結果)

■逆走懸念で抽出された箇所に係る事故危険区間の評価について

- ・ 逆走懸念で抽出された区間は事故発生件数が少ないため現行基準では対策完了にできない事象が発生している。こういった区間に対して適切な評価が出来るように完了基準および追加対策基準の見直しを提案し内容について了承を得た。

(委員長意見)

- ・ 適切な運用のための見直しであるため進めるべき。

4) 生活道路事故対策の取組について【報告】

5) その他【報告】

(委員意見)

- ・ 栃木県道 46 号宇都宮真岡線のフレスポうつのみや市場前の中分開口部について、北新幹線脇市道から県道へ右折しづらい形状となっているため、今後改善を望む。

(対応方針)

- ・ 関係者間で現地課題を確認し、次回会議で報告することとなった。

以上